

事業所名

放課後等デイサービスあおぞら（単位1）

支援プログラム

作成日

令和7 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		安心安全で楽しい余暇時間のご提供を目指します。										
支援方針		支援を行う前に、個々の障がいの程度、必要な支援内容、目標を明確にするために、個別支援計画(ISP:Individual Support Plan)を作成します。 障がい者本人のニーズを中心に、家族や医療、福祉、教育などの関係者が協力して支援計画を立てます。 日常生活の基本的な部分、例えば食事、入浴、排泄、移動の支援を行います。言語の障がいや知覚の障がいがある場合、補助的なコミュニケーション手段(絵カードやAAC装置など)の導入を考慮します。										
営業時間		10	時	00	分から	19	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	基本的な生活リズムや生活習慣の形成…1日のスケジュールを提示し、時間を意識しながら行動することで、生活リズムを自然と身に付けていく。 基本的な生活スキルの獲得…身の回りを清潔にし、排泄後や食事前の手洗いを習慣化していく。食事は自分で口に運ぶようにし、ゆっくりとよく噛んで食べるよう促す。 調理活動を通して食に対する楽しさを知り、食の偏りが少なくなるよう支援していく。										
	運動・感覚	保有する感覚の活用…絵本を見たり、歌や手遊びを通して、視覚聴覚触覚などの感覚を十分に活用できるよう支援していく。 公園や広場で歌に合わせて縄跳びをしたり、ボール遊びや遊具を使ったりして、運動機能を高めていく。										
	認知・行動	数量、大小、色等の習得…物の色分けや、パズルなどを行うことで、その色や形の違いが分かるように支援を行う。 認知や行動の掛かりとなる概念の形成…時計やタイマーを使い、終了時間が分かるよう支援する。 行動障害への予防及び対応…行動障害が起こる原因(環境や本人の気持ち)を探り、行動障害の予防及び適切な行動への対応の支援を行う。										
	言語 コミュニケーション	人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得…ままごとや、お店屋さんごっこ等遊びを通して獲得していく。 指差し、身振り、サインなどコミュニケーション機器の活用…指差し、身振り、サイン、写真、絵カードを用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。										
	人間関係 社会性	一人遊びから共同遊びへの支援…一人遊びから並行遊びを行い、大人が介入して連合的な遊びから共同遊び、と徐々に社会性が育つよう支援していく。 自己の理解とコントロールの為に支援…イライラしたときの対処法を大人と考え実践し振り返りコントロールできるよう支援していく。 買い物支援…スーパーなどへ買い物へ行き、金銭や商品のやり取りを経験しスキルを上げられるよう支援する。 調理や掃除などお手伝いへの参加…人の役に立ち感謝される経験を積み、社会性を身に付けていく。										
家族支援		延長サービス 年2回のモニタリング							移行支援		学校、関係機関との連携	
地域支援・地域連携		地域連携ネットワークの構築:地域内の学校、医療機関、福祉施設やNPO団体などが協力し、地域の課題解決に取り組むネットワークを構築します。							職員の質の向上		定期的な研修 毎日のミーティング	
主な行事等		月1回…調理週間 季節行事…夏祭り、プール遊び、ハロウィンパーティー、クリスマスコンサート 長期休み…連携先の福祉施設との交流活動										